

## 5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和5年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	5,044	0	5,044	0	5,044	0
備蓄米	341	0	277	0	277	0
飼料用米	216	0	192	0	192	0
米粉用米	5	0	6	0	6	0
新市場開拓用米	13	0	13	0	13	0
WCS用稲	158	0	175	0	175	0
加工用米	41	0	41	0	41	0
麦	7	0	8	0	8	0
大豆	38	0	40	0	40	0
飼料作物	60	0	65	0	65	0
・子実用とうもろこし	0	0	0	0	0	0
そば	47	0	48	0	48	0
なたね	0	0	0	0	0	0
地力増進作物	0	0	0	0	0	0
高収益作物	38	0	38	0	38	0
・野菜	30	0	29	0	29	0
・花き・花木	2	0	3	0	3	0
・果樹	3	0	3	0	3	0
・その他の高収益作物	3	0	3	0	3	0
その他	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
畑地化	0	0	13	0	13	0

## 6 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績）	目標値
				(2022年度)	(2023年度)
1	種苗類 （採種）	作付拡大支援 （地域振興作物）	作付面積	2.7	3ha
2	野菜、花き・花木、果樹	作付拡大支援 （自給率向上作物）	作付面積	28.9ha	31ha
3	果樹 （柿、西洋なし、うめ、おうとう、いちじく、りんご、みかん、日本なし、ぶどう、ブルーベリー、もも）	作付拡大支援 （地域振興作物）	作付面積	2.5ha	3ha
4	WCS用稲	地域内流通助成	取組面積 コントラクター組織利用率	155ha 99%	175ha 100%
5	飼料用米 WCS用稲 飼料作物	耕畜連携助成 （資源循環）	堆肥施用面積 収量（飼料用米） 収量（WCS用稲） 収量（飼料作物）	67.2ha 591kg/10a 5ロール/10a 2,212kg/10a	70ha 660kg/10a 6ロール/10a 2,250kg/10a
6	加工用米 飼料用米 米粉用米	生産コスト低減助成 （共同乾燥調製施設利用）	導入面積 平均経営面積	89.8ha 1.9ha	92ha 2.2ha
7	加工用米	安定生産支援	取組面積	13ha	39ha
8	大豆	収量向上支援 （多収品種）	多収品種作付面積 多収品種収量	22.3ha 127kg/10a	23ha 200kg/10a
9	大豆	収量向上支援 （収量向上技術）	取組面積 収量	31.6ha 114kg/10a	32ha 160kg/10a

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。  
 ※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:新潟県

協議会名:佐渡市農業再生協議会

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	作付拡大支援(地域振興作物)	1	32,000(上限35,000)	種苗類(採種)	作付面積に応じて支援
2	作付拡大支援(自給率向上作物)	1	29,000(上限32,000)	野菜、花き・花木、果樹	作付面積に応じて支援(整理番号3以外の品目を対象とする)
3	作付拡大支援(地域振興作物)	1	45,000(上限50,000)	果樹(柿、西洋なし、うめ、おうとう、いちじく、りんご、みかん、日本なし、ぶどう、ブルーベリー、もも)	作付面積に応じて支援
4	地域内流通助成	1	2,000(上限2,000)	WCS用稲	コントラクター組織を利用、生産性向上の取組実施
5	耕畜連携助成(資源循環)	3	12,000(上限13,000)	飼料用米、WCS用稲、飼料作物	市内の家畜の排泄物から生産された堆肥を散布
6	生産コスト低減助成(共同乾燥調製施設利用)	1	4,000(上限4,000)	加工用米、米粉用米、飼料用米	共同乾燥調製施設を利用
7	安定生産支援	1	5,000(上限6,000)	加工用米	令和4年産又は令和5年産～3年以上の複数年契約又は低コスト生産の取組を2つ以上
8	収量向上支援(多収品種)	1	10,000(上限11,000)	大豆	多収品種(里のほほえみ)の導入
9	収量向上支援(収量向上技術)	1	16,000(上限18,000)	大豆	排水対策等の実施

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的な要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。